

シンポジウム「ユ - ラシア東部とその隣接地域における陸域環境変動  
( Terrestrial Environmental Changes in East Eurasia and Adjacent Areas )」開催について

- 1 . 主 催 日本学術会議地球惑星科学委員会国際対応分科会  
Kanazawa University, Japan  
Nagoya University, Japan  
Siberian Branch of Russian Academy of Sciences (SB RAS), Russia  
Irkutsk Science Center, SB RAS, Russia  
Institute of Geochemistry, SB RAS, Russia  
AASA  
Institute of Earth Environment (IEE), Chinese Academy of Sciences (CAS), China  
Institute of Geology and Mineral Resources (IGMR), Mongolian Academy of  
Sciences (MAS), Mongolia  
Korean Institute of Geology and Mineral Resources (KIGAM), Korea
- 2 . 後 援 Siberian Branch of Russian Academy of Sciences, Russia  
Russian Foundation for Basic Research (RFBR), Russia  
International Science & Technology Center (ISTC), Russia
- 3 . 日 時 平成 1 9 年 8 月 2 4 日 ( 金 ) ~ 8 月 2 8 日 ( 火 )
- 4 . 場 所 プリバイカルスカヤ・ホテル ロシア共和国リストヴィヤンカ  
( Pribaikalskaya Hotel, Listvyanka settlement, Irkutsk Russia )
- 5 . 次 第

開催趣旨：

環境問題の解決には、生態系及び種の多様性の保全と人類の持続可能なあり方の調和が前提である。特に、既に世界人口の6割を擁し、今後も急速な人口増が予想されているアジアでは、信頼性の高い時系列情報の拡大・整備、予知・予測に関する精度・解像度の向上そして情報と環境管理戦略の共有化による国際協力の土台の強化が不可欠である。これには信頼性・解像度の高い時系列情報の存在が大前提となるが、ユ - ラシア東部の中緯度地域にはバイカル湖湖沼堆積物と黄土高原黄土堆積物という最古の高解像度陸域試料が存在している。中緯度の湖沼堆積物には解像度の高い陸域の多様な生命環境の情報が残されるという点で、深海底堆積物や氷床堆積物情報を、遥かに上回る利点がある。1971年、日本は琵琶湖湖沼堆積物試料を用いた長期環境情報の解析において世界に先鞭をつけたが、バイカル湖においても、日本の研究者はロシア・アメリカの研究者と共に長期環境変動に関する試料収集や解析を勢力的に進めている。さらに、最近バイカル湖流域のモンゴル・フブスグル湖においてモンゴル・韓国も参加し共同の試料収集・研究体制が確立してきた。一方、黄土堆積物試料は主として中国の研究者によって過去2000万年ほどの環境情報が収集・解析が進められてきた。本シンポジウムは、バイカル湖を中心に黄土高原、モンゴル・フブスグル湖、チベット高原北縁部・青海湖等を含めたユーラシア東部の陸域時系列環境情報の統合化・共有化を進展させること、そしてそれを通じてアジアの環境研究者のネットワーク形成に資することを基本的な目的とする。

## プログラム :

- August 24, 2007

Arrival at Irkutsk. Accommodation. Registration.

- August 25, 2007

Discussion of future potential drilling operation on different lakes (Baikal, Hovsgol, Quingai etc.).  
Sightseeing. Reception

- August 26, 2007

Opening ceremony, and Thematic Sessions (talks and posters).

- August 27, 2007

Thematic Sessions (talks and posters). General Discussion, Closing Ceremony. Banquet.

- August 28, 2007

Full-day field excursion. Departure.

## [ 問い合わせ先 ]

柏谷健二 金沢大学環日本海域環境研究センタ - 920-1192 金沢市角間町

Tel & Fax: 076-264-6531, e-mail: kashi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp